

ひなの家押野通信 第8号

それぞれの思いを17文字に詠む 「多機能おしの俳句の会」が発足



俳句の魅力語る堀耕一会長

ひなの家押野に「多機能おしの俳句の会」が発足しました。利用者で、会長の俳句歴60年余の堀耕一さん（78）を中心に利用者、スタッフらで構成しています。堀さんは高校時代、地元の室生犀屋がつくった詩歌や俳句に感動。自分でも俳句や詩をつくり、書き留めてきました。俳句好きなホームの他の利用者やスタッ

フに呼び掛けてこのほど、俳句の会を発足。早速、開いた初句会では、参加者は自分の想いを17文字で表現していました。堀さんは「季節の風景や思いをうまく言葉に表現できれば最高です。利用者の皆さんと俳句づくりを楽しめれば」と話し、参加者を募っています。



野々市市押野1-31
電話076(287)5810

ひなの家押野3周年
ひなの家押野は7月20日、開所以来3周年を迎えました。

第一回多機能おしの俳句会

下手好きが かえって負けじと意地になり
桜も世をうれい、コノモスの花と化す
歩のない将棋は 負け将棋
春風や 私はコロナに 負けないぞ
天罰が 来たのかなと思う コロナかな
もの言えは くちびる寒し 春風や
花吹雪 コロナに勝つぞと 舞い上がり
来年は みんな笑顔で オリンピック
無くし物探しは得意でも幸せ探しは苦手なの
咳したら クモの子散らす 武漢風邪

(あ) (か) (こ) (け) (さ) (せ) (そ) (た) (ち) (な) (に) (の) (は) (ま) (め) (む) (も) (や)

四季を撮る

ズッキーニを初収穫



ひなの家押野の畑で今年初めて栽培したズッキーニが実をつけ、利用者皆さんが収穫に汗を流しました。ズッキーニはイタリイタリ料理でよく知られています。

緑色が普通ですが、収穫したのは黄色いズッキーニです。早速、いためたりの、ゆでたりして、ホームの日々の食事に使われました。

無病息災願い、茅の輪をくぐる



茅の輪をくぐる利用者＝高皇産霊神社

ひなの家押野の利用者が6月28日、野々市市押野の高皇産霊（たかみむすび）神

社を訪れ、茅の輪くぐりを体験。心身を清めて無病息災を祈願しました。

参道に設けられた直径約3mの茅の輪を8の字状にくぐつてから本殿前で、手を合わせました。

茅の輪のそばに七夕飾りがあり、利用者がそれぞれの願い事を書いた短冊を取り付けていました。利用者の一人は「今年にはコロナに負けないで健康に過ごせるようにお願いしていました」と話していました。

「渚一世風美」がホームを慰問 勇壮な踊りで利用者を喜ばす

YOSAKOIソーラン日本海に所属する白山市の「渚一世風美（なぎさいつせいふうび）」チームが7月18日、ひなの家押野を訪れ、勇壮な踊りを披露しました。

渚一世風美は、結成後約20年になる歴史あるチーム。毎年、県内の福祉施設を慰問しています。この日は、メンバー30人がひなの家押野を訪れ、よきこいソーラン踊り4演目を披露。奇抜な衣装で息もぴったりな踊りを演じました。

利用者やスタッフも飛び入り。利用者の内村雅亮さんが力いっぱい大旗を振りました。利用者代表として小野治郎さんが「踊りを見て元気になりました。コロナに負けないで頑張ります」とお礼の言葉を述べました。



勇壮な大旗を振りかざす



元気に踊るメンバー

スタッフ紹介 「元気いっぱい」⑧

介護士 大村 聖弥さん



介護の必要性を痛感する大村聖弥さん

介護可能性が限りなく大だから面白い

介護士になって1年3カ月。どうしたら利用者か、生き甲斐をもち、楽しく充実した毎日を送られるか。それをテーマに仕事に励む。

就職。仕事に明け暮れる毎日に家族を顧みる時間がない。看護師の妻と話し合い、介護士を志した。

「正解は一つじゃない。やろうと思えば何でもできる。介護の仕事は可能性が無限大。だから面白い」。秋田県出身。大学卒業後、本社が金沢市の道路舗装会社に着職。仕事に明け暮れる毎日に家族を顧みる時間がない。看護師の妻と話し合い、介護士を志した。



大旗を振る内村さん



お礼を述べる小野さん

七夕に願い込める

フロアに七夕飾りがお目見えしました。壁面（縦2m、横3m）に色紙で作った竹を張り、利用者やスタッフが願い事を書いた短冊を付けました。「利用者みんな健康ですごせるように」など思いの願い事が書かれています。



七夕飾り

◎編集後記

2017年7月20日にオープンしたひなの家押野が今年7月で3周年。スタッフによると、最初の1年間は利用者が少なくて青息吐息。そのうち、小規模多機能施設の良さが認識され始め、利用者は急増。だが、まだ3歳のおさな子と同じ。「介護は人が要」。この基本を忘れず、よりよい介護へ前進あるのみ。(浦上)